



ばらぐみだより

鈴鹿市立神戸幼稚園 令和4年3月25日 No.12

先日は、お忙しい中、生活発表会にお越しいただきありがとうございました！今年度は開催できるのかドキドキでしたが、無事に発表会を行うことができ、ホッとしました。発表会後には、たくさんの感想をいただきました。ありがとうございます！少し紹介させていただきますね。

- 頑張っている姿にウルツとしてしまいました。この1年間で、お友達ができたり、楽しい事、悲しい事、色んなことを経験して、どんどん変化していった〇〇の姿を思い出しました。
- 友達と一緒に成し遂げる達成感、一つ一つ大切な思い出になり頑張る気持ちにつながるのが本当にすごいなと見習いたい気持ちになりました。
- 歌も劇もすごく楽しそうにしていたり、少しはずかしそうにしている時もありましたが、頑張っている姿を見て、〇〇大きくなったな一としみじみ思いました。本当にみんなかわいくってほほえましかったです。
- 少し緊張しているかなって感じはしましたが、堂々とセリフを言ったり、うたをうたったりする姿に感動しました。
- セリフも言えるかなあ…と心配していましたが、大きな声で言っていた事に感動しました。こういうみんなの前で何かを言うというのが結構苦手なので、この1年での成長を感じました。楽しく精一杯がんばる姿がすごく嬉しかったです。

ひとつひとつ、本当に嬉しく思いながら読ませていただきました。それぞれのお子さんの成長を感じていただけたことを嬉しく思いました。ありがとうございました！！



3月こんなことがありました

ひなまつり会 うれしいひなまつりをうたったり、ひなまつりの由来の話を聞いたりしました。その後、給食についていたひなあられと、白酒のかわりのカルピスで「かんぱーい！！」おいしくいただきました。



おわかれえんそく、楽しかったね！ 年長さんに手をつないでもらい神戸公園に出発！歩く子どもたちの姿を見て、ずいぶんしっかりと歩けるようになったなと感じました。公園では、遊具で遊んだり、つくしや花を見つけたりして春を感じながら楽しみました。



これは、おわかれえんそくの時ではないですが、園やサツマイモ畑、小学校に散歩に行ったりして、春の草花を見つけ遊ぶこともありました。

おおきいぐみさん、ありがとう！

年長児が23日に卒園していきました。子どもたちに年長児との思い出を聞いてみると、「一緒に遠足行った！」「一緒に遊んだ」「なわとびがすごかった！」「いもほりもしたなあ」などなど、たくさんのお話が聞かれました。そこで、楽しい時間を一緒に過ごし、やさしくかかわってくれた大きい組さんに、“ありがとう”の気持ちを込めて、折り紙でペンダントを作ってプレゼントをしました。



ペンダントをどうぞ！



筆箱、使ってね！

大きい組さんからもばら組さんに…とプレゼントをもらいました。牛乳パックで作った“筆箱”です。「大きい組さんになったら、文字を書いてお勉強するんだよ。鉛筆と消しゴムを入れて使ってね。」と使い方を教えてもらいました。

ばら組にとって年長児は憧れの存在です。今度は、自分が大きい組さんにしてもらって嬉しかったことを、やさしい気持ちをもって次のばら組さんや未就園児の子たちにしてくれることと思います。



ばらぐみさん、おおきくなったね！

この1年、幼稚園が好き！友だちが好き！をめざして、毎日の生活を含め様々な活動を楽しんで取り組めるよう、また友だちと一緒にすごすことの楽しさやうれしさを味わうことができるよう、努めてきました。園ですごす姿やおたより等でおうちの方から教えていただいた姿から、どの子も自分なりに幼稚園生活を楽しめるようになったと感じています。



新しい環境、出会ったばかりの友だち、初めて集団生活…おうちの人と離れる寂しさから涙が出たり、不安そうな表情をしていたりする姿もありました。でも、少しずつ幼稚園のことがわかってくると、自分の好きな遊びを見つけて動きだせるようになりました。

幼稚園に慣れてくると、だんだん友だちに目がむくようになっていきました。好きな遊びを通して、友だちと一緒に遊ぶようになっていたり、楽しそうにおしゃべりをしたり…。友だち

が困っている時には助けたり、心配したりする姿が見られるようになったり、友だちの姿に刺激をうけて挑戦してみようという気持ちになったり、様々な場面で友だちのよさを感じてくることができたと思います。

友だちと一緒にすごす中で、うまくいかないことも経験してきました。「自分はどんな気持ち?」「お友だちはどんな気持ち?」「どうすればいいのかな?」と、ひとつひとつ考えて、相手にも気持ちがあることを知ったり、自分の行動を振り返ったりしてきました。まだまだ十分に気持ちを伝えたり、相手の気持ちを感じとったりできることばかりではありませんが、繰り返し経験する中で気付いたり、学んだりしながら、お互いをわかりあえるようになってきていると思います。友だちがいるから楽しくなったり、嬉しくなったり、ほっとした気持ちになったり、頑張ってみようと思えたり…友だちの存在が大切なものとなっています。



子どもたちは心も体も大きくなりました。一人ひとりの歩み方・ペースで、それぞれが自分のことは自分でできるようになり、できたことが自信になっています。ばら組の生活の中で体験したこと、色々な気持ちを感じたこと、全ての経験が子どもたちが成長する力につながっていると思います。

子どもたちが園で元気にすごし、成長してくることができたのも、子どもたちをいつも温かく見守り支えてくださるおうちの方々の存在があったからこそです。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お願いをすることがたくさんありましたが、いつもご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。

ばら組の子どもたち、おうちの方に出会い、一緒にすごすことができたことを本当に嬉しく思っています。これからも、子どもたちに素敵な未来がひろがっていくよう願っています。

水谷 友香

お知らせとお願い



○年長児にもらったプレゼント（牛乳パックの筆箱）は、年長になったら使います。（ひらがなのワークをする時に鉛筆と消しゴムを入れて、筆箱として使います）幼稚園で保管していますので、ご了承ください。

○来年度は、4月8日（金）進級式から始まります。

配布済みの『入園進級のしおり』に案内がのせてありますので、よくお読みください。また、ゆり組は全員進級児でのスタートになりましたので、服装は、親子ともに「普段着」でお願いします。職員は、その後入園式があるため正装で参加します。ご了承ください。